

2015年度 経済学部ハイド賞

懸賞論文募集

経済学部では、1921年から1922年にかけて本塾で教鞭をとられたカナダ人教授 故ダンカン・クラーク・ハイド氏が、経済学部 に託された遺志を記念し、1988年度より学生諸君の学問研鑽を奨励するために「経済学部ハイド賞」を設け、懸賞論文を募集しています。今年度の募集要項は以下のとおりです。ふるってご応募下さい。

記

テーマ：「戦後70年」を経済成長論議から問い直す

日本を例にとると、「朝鮮戦争」特需、高度経済成長期、日本列島改造ブーム、平成バブル経済など、第2次世界大戦後70年間に「経済成長」の仕組み、その是非、その実績について議論が繰り返されてきた。1980年代以降には、日本以外のアジア諸国の「経済成長」も目覚ましい。「経済成長」あってこそその国民生活安定であるとする議論が存続する一方、近年では、各方面から「脱・経済成長」を志向する声も強くなってきた。「経済成長」における政府の役割や「経済成長」の果実の分配にかかわる「格差論争」も盛んである。こうした現実をふまえて、「戦後70年」の過程で起こった「経済成長」の諸相とそれをめぐる論争(言説)について、具体的なトピックをとりあげ(1つでも複数でも可)、自由に論じなさい。

1. 使用言語：日本語・英語のいずれか

2. 用字・字数(枚数)および提出部数

日本語の場合：ワープロでA4判用紙に横書き、10,000～16,000字 要旨(400～800字)を添付

英語の場合：ワープロでA4判用紙に横書き、3,000～5,000語 要旨(200～300語)を添付

提出部数：6部(コピー可)。なお、日本語・英語とも上記の字数・枚数に図表及び参考文献表は含まれません。

3. 応募資格：経済学部・学部学生 単独でも複数者による共同論文でも可。

4. 締め切り：2015年12月4日(金) 16:45 締め切りを過ぎでの提出は一切認めません。

5. 提出先：三田・日吉 学生部 経済学部係

6. 賞：・特賞(賞金10万円)・優秀賞(賞金5万円)・努力賞(賞金2万円) 合わせて5編程度

なお、各受賞論文については、経済学部ホームページおよび学内掲示板に、受賞者氏名ならびに論文題名を掲載します。

7. 発表：2016年1月中旬の予定

8. 過去の受賞論文の閲覧について

前年度受賞論文を、<http://www.econ.keio.ac.jp/>に掲示します(塾内LANでのみ閲覧可)。

9. その他

1) 論文執筆にあたっては、学術論文の作法に関する書物を読むことを強く勧めます。

以下の教養研究センターのサイトなどを参照して下さい。<http://lib-arts.hc.keio.ac.jp/ronbun/books.html>

応募論文はオリジナルであること、また他の懸賞論文や雑誌等に重複して応募・投稿していないものであることを条件とします。引用に当たっては出典を明記することにも留意して下さい。

応募論文は返却しません。受賞論文の著作権は経済学部 に帰属します。

2) 論文執筆過程において、論文の内容趣旨がテーマと符号しているかについて心配な学生は、以下の相談日に対応いたしますので来室してください。

・日吉キャンパス:11月4日(水)12:15～13:00 日吉来往舎1階「談話室」

・三田キャンパス:11月6日(金)12:15～13:00 三田キャンパス研究室棟地下「第二会議室」

2015年6月18日

経済学部ハイド賞選考委員会